



市議会だより

第175号



令和7年5月12日発行



2～3P

議会の構成と役割

4～5P

各会派・会派に属さない
議員の抱負・取組み

5P

令和7年2月定例会から

6～8P

代表質問・一般質問

9～10P

議案の議決結果・議員別賛否
報告案件

11P

特別委員会報告から
委員会報告から

12P

議会活動状況
6月定例会日程(案)
議会報編集委員会
編集後記

就任の あいさつ



議長
西川 浩司



副議長
神 悠太

私たちは、去る4月6日に執行されました市議会議員選挙により改選され、4月18日開催の第2回臨時会におきまして、議員各位多数のご推挙をいただき、議員改選後の初の議長、副議長に就任いたしました。誠に身の引き締まる思いであり、その責任の重大さを痛感している次第であります。

私たちは、これまでの経験を生かし、市政の推進と公平で公正な議会運営を目指し、誠心誠意努力する所存であります。

さて、赤穂市政を取り巻く環境は、人口減少、少子・高齢化をはじめ、市民病院の経営改善、産業廃棄物最終処分場建設計画反対、新ごみ処理施設の整備、インフラ施設の老朽化対策、激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への防災・減災対策など、数多くの重要課題に直面し、その解決に残された時間は限られております。

総合計画に掲げます「自然と歴史に育まれ 笑顔と希望あふれる活力のあるまち」の実現に向け、市民の皆様の声を真摯に、謙虚に受け止めるとともに、市長はじめ執行機関の皆様とは、健全な緊張感を持って、共にこの難局を乗り越えていきたいと考えております。

また、議会改革につきましては、これまでの歩みを止めることなく、市民の皆様が開かれた議会、市民の皆様から信頼される議会を目指し、取組みを進めてまいりたいと考えております。微力ではございますが、市民誰もが健やかに暮らせる安全と安心のまちづくり及び市政発展のため、円滑な議会運営に鋭意努めさせていただく所存でございます。今後とも、市民の皆様の温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

議会の構成と役割

新しい常任委員会の構成

(令和7年4月18日現在※委員は議席順)

総務文教委員会

市政の総合的企画及び調整、定住自立圏構想、防災、危機管理等、広報、行政管理、情報政策、財政及び市税、保育所、幼稚園、小中学校、教育施設、生涯学習及びスポーツ推進、文化財に関する事項などを調査します。



土遠孝昌
委員長
(赤諒会)



荒木友貴
副委員長
(無会派)



前川弘文
委員
(公明党)



田淵和彦
委員
(千種)



家入時治
委員
(無会派)



西川浩司
委員
(新風)



赤穂城デジタル
ミュージアム

民生生活委員会

市民活動及び広聴、公営住宅、環境保全、廃棄物の処理及び資源化、健康の増進及び予防衛生、市民福祉、介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療、消防、病院事業に関する事項などを調査します。



安田 哲
委員長
(千種)



深町直也
副委員長
(無会派)



榊 悠太
委員
(赤諒会)



山谷真慶
委員
(無会派)



中谷行夫
委員
(赤諒会)



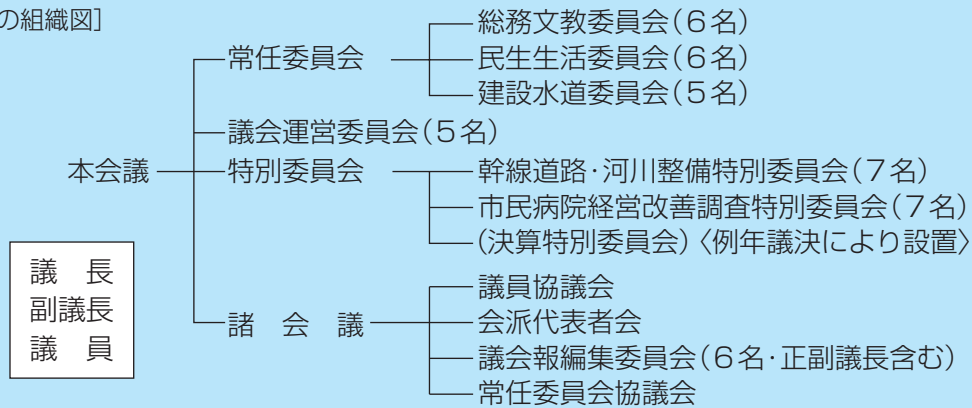
山野 崇
委員
(新風)



赤穂市こども計画



[市議会の組織図]

建設水道
委員会

道路、橋梁、河川及び港湾、都市計画及び都市計画事業、公園、緑地、土地区画整理事業、農林水産業、商工業、労働行政、観光、企業立地、水道、下水道事業に関する事項などを調査します。



南條千鶴子
委員長
(公明党)



井田佐登司
副委員長
(千種)



木下秀臣
委員
(赤誠会)



松崎昭彦
委員
(赤誠会)



瓢 敏雄
委員
(無会派)



高校生対象の赤穂市内企業合同説明会

議会運営
委員会

議会の運営、議会の会議規則・委員会条例、議長の諮問に関する事項などを調査します。

委員長 山野 崇 副委員長 安田 哲
委員 土遠孝昌 中谷行夫 前川弘文

幹線道路・
河川整備
特別委員会

幹線道路・河川整備に係る取組みや国道250号高取峠トンネル化に向けた調査・研究・要望などを関係機関に行います。

委員長 前川弘文 副委員長 山野 崇
委員 木下秀臣 松崎昭彦 安田 哲
中谷行夫 田淵和彦

市民病院経営
改善調査
特別委員会

市民病院に係る経営改善対策の進捗状況や効果額に対する検証・提言及び経営形態に関する調査・研究を行います。

委員長 中谷行夫 副委員長 南條千鶴子
委員 木下秀臣 松崎昭彦 井田佐登司
田淵和彦 山野 崇

その他の役職

- 監査委員 中谷行夫
- 安室ダム水道用水供給企業団議会議員 土遠孝昌 西川浩司
- 赤穂市都市計画審議会委員 木下秀臣 松崎昭彦 南條千鶴子 井田佐登司 山野 崇
- 赤穂市環境審議会委員 安田 哲 中谷行夫 前川弘文 山野 崇

各会派等の抱負・取り組み

赤諒会

代表 土遠 孝昌 政調会長 中谷 行夫
会 計 木下 秀臣 会 員 松崎 昭彦
会 員 榊 悠太

住みつづけたいまち「赤穂」を目指して

地方自治体の大きな課題である人口減少・少子高齢化対策として、育児支援の充実を図り、子育て環境を整え、また、高齢者の活躍を促進するためにシニア世代の知識と知恵を生かした持続可能な社会を築き、市民の皆様が安全で安心して、生活ができるまちづくりに努めてまいります。

千 種

代表 田淵 和彦 副代表 井田佐登司
会 計 安田 哲

赤穂市政の発展に向けて

新会派を結成してから4年が経ち、2期目のスタートを切ることができました。結成時の思いを忘れることなく、個々の議員としての資質の向上に努め、活動する会派として赤穂市政の発展の為に取り組んでまいります。引き続き皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

公明党

代表 南條千鶴子 会 計 前川 弘文

「共に支え合う温かなまち」の構築

安心できる持続可能な医療体制、各分野における人材不足、加速する少子高齢化、激甚化・頻発化する自然災害、老朽化するインフラ設備等、山積する課題に直面しています。安心して希望が見える「共に支え合う温かなまち」を築くため「小さな声を聴く力」を発揮し政策を実現してまいります。

新 風

代表 山野 崇 会 員 西川 浩司

市民に寄り添う赤穂市の実現に向けて

この度の改選により二人会派となりました。赤穂市では、市民病院の経営問題だけでなく、少子高齢化、市内の活性化など問題山積みであります。まずはこうしたまちの課題に真摯に向き合い、住民生活の向上と満足度を高めるようなまちづくりを目指して、全力で活動していければと思います。

会派に属さない議員

家入 時治

瓢 敏雄

荒木 友貴

市民の皆様の満足度・幸福度向上を目指して

赤穂市に元気を取り戻さなければなりません。超少子化・超高齢化の社会となり、各種市民団体の活動も寂しくなっています。移住・定住施策の促進、観光客誘致、企業誘致や既存企業の増資・増築の支援、雇用の確保、女性が輝ける生活などの課題解決、花火大会の復活にも尽力していきます。

議論せねばならないことがある

市民病院の問題をはじめ、人口減少、高齢化など、これまでの懸案に加え、土地利用、自然の脅威に対する備えなど、課題は山積しています。一方で社会は、コロナ禍を経て、その前後では大きく考え方が変化したように感じます。先送りすることなく、しっかり議論していきたいと考えています。

人と情報をつなぎ行動する議員を目指します

市内外の議員・団体・個人との関係づくりに力を入れ、赤穂市の活動や情報のパイプ・アンテナ役となれるよう努めています。今後はさらに活動の輪を広げ、市民の皆様とともに様々な行政課題に現場で取り組んでいきます。また日々の活動を通し議会・議員の役割もわかりやすく発信します。



会派に属さない議員

深町 直也

山谷 真慶

二期目も市民が主人公の市政を目指して

赤穂市議会議員として二期目の任期を務めさせていただくことになりました。産廃建設絶対阻止や地域公共交通の充実など選挙で掲げた公約を守り、これからの任期も市民の皆様の大切な声を赤穂市政・議会に届け、憲法を生かした市民が主人公の市政を目指して頑張ってまいります。

赤穂市の躍動を止めない！

赤穂市の未来に市民の声が躍動する市政を目指します。既得権益やしがらみにとらわれず、制度や公共施設の見直し、行政の見える化を進め、公平で開かれた市政を築きます。暮らしの声を大切に、市民が主役のまちづくりを実現します。あなたの声が赤穂市を変える力です。共に前へ進みましょう。

令和7年2月（第1回）定例会から

令和7年2月（第1回）定例会を、2月12日から3月12日までの29日間の会期で開催しました。

今期定例会では、2月12日に令和6年度関係議案、13日に令和7年度関係議案について市長の施政方針を含む説明を受け、2月18日に令和6年度関係の12議案を可決し、3月12日に令和6・7年度関係追加議案の説明、令和6年度関係の1議案、令和7年度一般会計予算、各特別会計予算、各事業会計予算、条例の制定等41議案及び赤穂市教育委員会委員の任命についての人事案件を、いずれも原案どおり可決し閉会しました。

なお、2月26日、27日に、市長の施政方針に対して会派代表6名の議員が代表質問を、2名が一般質問を行いました。

（質問の詳細については、6～8ページ参照）

各会計予算

会計区分	令和7年度	前年度比
一般会計	255億9,000万円	97.3%
特別会計	109億7,130万円	96.7%
小計	365億6,130万円	97.1%
病院事業会計	112億4,726万円	104.2%
介護老人保健施設事業会計	4億6,445万6千円	106.2%
水道事業会計	23億2,872万4千円	101.9%
下水道事業会計	44億994万4千円	95.0%
合計	550億1,118万4千円	98.6%

【2月（第1回）定例会の詳細日程】

2月

- 12日（開会）
 - ・令和6年度関係議案（説明）
 - ・財団法人等の令和6年度事業計画変更の報告（説明、質疑）
- 13日・令和7年度関係議案
 - （説明＝施政方針、予算編成方針を含む）
 - ・財団法人等の令和7年度事業計画の報告（説明、質疑）
- 18日・令和6年度関係議案（質疑、討論、表決）
- 26日・代表質問（新風・千種・赤諒会）
- 27日・代表質問（公明党・政翔会・清和会）
 - ・一般質問
 - ・令和7年度関係議案（質疑、委員会付託）

3月

- 3日・民生生活委員会・協議会
- 4日・建設水道委員会・協議会
- 5日・総務文教委員会・協議会
- 12日・令和7年度関係議案
 - （委員長報告、質疑、討論、表決）
 - ・令和6年度及び令和7年度追加議案（説明、質疑、討論、表決）
 - ・人事案件（説明、質疑、表決）
 - ・幹線道路・河川整備特別委員会付託事件（委員長報告、質疑）
 - ・市民病院経営改善調査特別委員会付託事件（委員長報告、質疑）
 - ・協議会

（閉会）

市政の課題 将来の展望を



ただ
質す

2月26日、27日に計8名が登壇し、市政の課題や将来の展望に対する考え方について、代表質問及び一般質問を行いました。

※QRコードより、議員ごとに代表質問または一般質問の様子を動画にて閲覧できます。

災害に強いまちづくりの推進について

新風代表 釣 昭彦 議員

問 近年、自然災害が激甚化する中、赤穂市の防災対策の強化が求められる。民間企業との連携協定を活用した防災体制の構築や、道路・橋梁・下水道などのインフラ強化が必要ではないか。特に軟弱地盤を抱える市内では、災害時の復旧を迅速に行うための対策が不可欠である。行政の具体的な防災対策とインフラ強化の計画について、市の方針を伺う。



答 民間企業との連携協定については、土木や交通、電力など、さまざまな民間企業と災害応援協定を締結し、災害時における人的・物的支援体制を確保している。道路や橋梁のインフラ強化については、災害時の物資輸送や防災拠点等へのアクセスにも考慮した長寿命化計画に基づき、計画的に修繕・改良工事を実施している。下水道施設については施設の耐震化・耐水化に加え、災害時の復旧を迅速に行えるよう、緊急輸送路におけるマンホール浮上対策を実施するなど、計画的なインフラ強化に努めている。



公共施設の管理運営のあり方について

千種代表 田 淵 和彦 議員

問 人口減少は市税・交付金の減少と社会保障関係費等は増加しその財源確保が必要となる。対策として総務省の言う公共施設等の削減目標を立てた取り組みが必要である。市の目標率と達成状況、また歴史博物館や美術工芸館等の莫大な維持管理費用が必要な施設や採算性の無い施設の管理運営について伺う。



答 赤穂市公共施設等総合管理計画において、将来展望人口ビジョンにおける人口動向にあわせ、令和28年度までに公共施設の総延床面積の26.2%以上の縮減を数値目標として設定しており、その達成状況は、令和5年度末時点で数値目標に対し0.67%となっている。歴史博物館等の4施設については、個別施設計画において社会教育施設として維持し、計画的・保全的修繕により長寿命化を図ることとしている。各施設は各分野で資料の収集、保管、調査研究及び展示等を行うことにより、市民の教養及び科学教育の向上、文化の発展に資するために設置しており、今後も必要な施設と考えている。





行財政改革について

赤諒会代表 中谷行夫 議員

問 市民病院の経営支援のため、令和6年度は市から8億円の繰り出しが行われた。現下の状況を勘案すれば令和7年度も多額の追加繰り出しが必要になり、市の一般会計にも多大な影響を及ぼすことが予想される。今後、病院の経営改革と併せて更なる行財政改革を実施せざるを得ないと思うが所見を問う。



答

第9次赤穂市行政改革大綱の策定後、病院事業会計への追加支援はもとより、賃金上昇や物価高騰等の影響により、本市の財政状況は一段と厳しさが増しており、令和7年度中に中間での見直しを予定している。事業の見直しについては各事業の緊急性、必要性を慎重に見極めつつ費用対効果、後年度への財政負担等を再度精査の上、人件費を含むすべての事務事業について、例外なくゼロベースを基調とした見直しを図るなど、さらに踏み込んだ行財政改革に努めていく。



保育人材の確保に向けた取組みについて

公明党代表 前川弘文 議員

問 保育人材の確保に向けた総合的な対策として、処遇改善のほか、働きやすい職場環境づくり、新規の資格取得や就業支援、保育の現場・職業の魅力向上の発信などの対策が考えられる。魅力発信として、保育所等や保育士の現場での取組みや働きやすい職場環境づくりの取組み等を動画として発信してはどうか。



答

保育人材の確保については、積極的に正規職員の採用を行うとともに、就職支援ガイダンスの実施、潜在保育士発掘のための、市内の保育士資格保有者へのダイレクトメール送付、実習生やボランティアを希望する学生の積極的な受入れなどの取組みを行っている。これらの取組みの継続的な実施に加え、新たな保育人材の確保策については、保育の現場・職業の魅力を発信する動画の作成も含め、前向きに検討していく。



少子化対策として子育て環境・施策のPR、情報発信について

政翔会代表 家入時治 議員

問 充実した子育て環境・施策は、子育て世代に限らず、18歳以上の若者にもPRし、移住・定住に対しても情報発信していくことで、少子化・人口減少を抑制することに繋がっていくことが大切な目的だと考える。赤穂市に住んで誇りを持ち、幸福度が高まる子育て環境・施策のPR、情報発信について見解を伺う。



答

子育て支援施策を分かりやすくまとめた子育て応援ブック「ぴよぴよ」を作成し、市内の関係施設に配布するとともに、令和6年度については、東京で行われた移住定住イベントや「二十歳のつどい」の開催時にも配布し、市外や若者に対しても情報発信に取り組んでいる。今後もより多くの方に本市の子育て環境や施策を周知できるよう、積極的に情報発信し、より充実した子育て環境の実現に努めていく。



下水道使用料の改定について

清和会代表 前田尚志 議員

問 下水道使用料の値上げが行われるのは望むものではないが、安定した下水道事業を維持していくためには致し方ないと思う。①市民への周知は、②増収見込額は、③今回の改定で更新できる財源は確保できるのか、④従量使用料を1年6か月間5円控除する理由は、⑤今後の検討課題でもある水道料金の見直しについて伺う。



答

①市ホームページ、広報あこう及び市公式LINE等を活用し周知に努める。②令和7年度は9月1日施行予定のため約6,300万円の増収を見込んでいる。③安定した事業運営のためには、さらなる経費削減に加え下水道使用料の定期的な見直しも必要と考える。④上下水道事業在り方検討委員会からの答申の附帯意見に加え、現下の物価上昇による市民生活や事業者の経済活動への影響に配慮した使用料改定に伴う負担軽減策である。⑤水道料金については耐震化等の財源を確保する必要があり、引き続き上下水道事業在り方検討委員会において検討していきたい。



育休退園制度に係る令和6年第4回定例会での答弁について

無会派 深町直也 議員

問 令和6年第4回定例会の育休退園制度の廃止を求める一般質問に対する答弁で、子育て家庭の支援のため育休中の保育所の継続利用について前向きに考えるという答弁があったが、現状の見直しの検討の進展と制度の見直しをどの時期に想定しているのか伺う。



答

当然すべての子供を受け入れたいと思っているが、受け入れる施設や人員の制限等、様々な課題があり、じくじたる思いで施策をたてているところである。保護者が育児休業を取得する場合の保育所等の継続利用については、これまで原則3歳児以上の児童を対象としていたが、令和7年4月から、0から2歳児の児童も対象に含める方向で検討が進んでおり、対応しているところである。



部活動地域移行（展開）の在り方について

無会派 荒木友貴 議員

問 令和8年度で学校部活動を完全に廃止し地域移行を進める方針だが、地域移行受入団体、保護者・子どもたちから戸惑いも聞かれる。①受入団体への大型備品補助、②補助申請の支援、③活動場所の調整、④困窮家庭への支援、⑤受入団体が少ない地域の課題解消など、早急に市として対応を決め、調整する必要があるのではないか。



答

①各施設で整備するものと考えているが、個別の問題には関わっていく。②原則、実施主体である各団体での対応をお願いしているが、現在学校教育課が事務局としてサポートしている。③引き続き対応していく。④部活動地域移行を進める上で最重要課題の一つと考えており、国や県の施策を慎重に見極めながら経済的理由で部活動ができない生徒が出ないように対応していく。⑤近隣市町には受入団体がほとんどなく不透明であるが、今後も他市町との協力体制については、積極的に取り組んでいく。





2月(第1回)定例会提出議案に対する議員別賛否一覧表

賛成：○ 反対：× 欠席：欠

議案等番号	件名	議決結果	西川浩司	山野崇	南條千鶴子	安田哲	井田佐登司	荒木友貴	深町直也	中谷行夫	榊悠太	釣昭彦	奥藤隆裕	前川弘文	前田尚志	瓢敏雄	田淵和彦	家人時治	山田昌弘	土遠孝昌
第2号議案	令和6年度赤穂市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号議案	令和6年度赤穂市国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号議案	令和6年度赤穂市職員退職手当管理特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号議案	令和6年度赤穂市墓地公園整備事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号議案	令和6年度赤穂市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第7号議案	令和6年度赤穂市後期高齢者医療保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号議案	令和6年度赤穂市病院事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号議案	令和6年度赤穂市介護老人保健施設事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号議案	令和6年度赤穂市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号議案	令和6年度赤穂市下水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号議案	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
第13号議案	市道の認定及び廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号議案	令和7年度赤穂市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号議案	令和7年度赤穂市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号議案	令和7年度赤穂市職員退職手当管理特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第17号議案	令和7年度赤穂市墓地公園整備事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号議案	令和7年度赤穂市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号議案	令和7年度赤穂市後期高齢者医療保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第20号議案	令和7年度赤穂市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号議案	令和7年度赤穂市介護老人保健施設事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号議案	令和7年度赤穂市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第23号議案	令和7年度赤穂市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第24号議案	赤穂市公告式条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第25号議案	赤穂市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第26号議案	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第27号議案	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第28号議案	赤穂市職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第29号議案	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第30号議案	議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第31号議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第32号議案	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第33号議案	赤穂市学校給食調理員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第34号議案	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第35号議案	赤穂市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第36号議案	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第37号議案	赤穂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第38号議案	赤穂市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第39号議案	赤穂市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第40号議案	赤穂市在宅介護支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第41号議案	赤穂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第42号議案	赤穂市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第43号議案	赤穂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第44号議案	赤穂市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第45号議案	赤穂市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長のため、表決には加わりません。

賛成：○
反対：×
欠席：欠

議案等番号	件名	議決結果	西川浩司	山野崇	南條千鶴子	安田哲	井田佐登司	荒木友貴	深町直也	中谷行夫	榊悠太	釣昭彦	奥藤隆裕	前川弘文	前田尚志	瓢田敏雄	田淵和彦	家入時治	山田昌弘	土遠孝昌
第46号議案	赤穂市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第47号議案	備前市及び赤穂市における東備西播定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定を締結することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第48号議案	赤穂市デイサービスセンターの指定管理者の指定に係る議決変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第49号議案	赤穂市在宅介護支援センターの指定管理者の指定に係る議決変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第50号議案	令和6年度赤穂市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第51号議案	令和7年度赤穂市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号議案	子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第53号議案	赤穂市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第54号議案	赤穂市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号議案	赤穂市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第56号議案	赤穂市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長のため、表決には加わりません。

2月(第1回)定例会報告案件

議案等番号	件名
報第2号	公益財団法人赤穂市文化とみどり財団の令和6年度事業計画変更の報告について
報第3号	赤穂駅周辺整備株式会社の令和6年度事業計画変更の報告について
報第4号	公益財団法人赤穂市文化とみどり財団の令和7年度事業計画の報告について
報第5号	赤穂駅周辺整備株式会社の令和7年度事業計画の報告について

1月(第1回)臨時会提出議案に対する議員別賛否一覧表

賛成：○
反対：×

議案等番号	件名	議決結果	西川浩司	山野崇	南條千鶴子	安田哲	井田佐登司	荒木友貴	深町直也	中谷行夫	榊悠太	釣昭彦	奥藤隆裕	前川弘文	前田尚志	瓢田敏雄	田淵和彦	家入時治	山田昌弘	土遠孝昌
第1号議案	令和6年度赤穂市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

※議長のため、表決には加わりません。

1月(第1回)臨時会報告案件

議案等番号	件名
報第1号	専決処分の報告について
専第8号	支払遅延に係る損害賠償の額の決定について
専第9号	物損事故に係る和解及び損害賠償の額の決定について

4月(第2回)臨時会提出議案に対する議員別賛否一覧表

賛成：○
反対：×

議案等番号	件名	議決結果	榊悠太	木下秀臣	松崎昭彦	南條千鶴子	井田佐登司	安田哲	荒木友貴	深町直也	山谷真慶	土遠孝昌	中谷行夫	瓢田敏雄	前川弘文	田淵和彦	家入時治	山野崇	西川浩司
報第7号	専決処分の報告について	承認																	
専第3号	赤穂市税条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
専第4号	赤穂市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
専第5号	看護学生等修学資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第57号議案	赤穂市監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	

「/」：自己に関する議案のため除斥。※議長のため、表決には加わりません。

4月(第2回)臨時会報告案件

議案等番号	件名
報第6号	専決処分の報告について
専第1号	事務遅滞に係る損害賠償の額の決定について
専第2号	物損事故に係る和解及び損害賠償の額の決定について



特別委員会報告から

● 幹線道路・河川整備特別委員会

委員会開催状況

令和6年度は、8月29日に委員会を開催しました。委員会では、幹線道路、河川及び砂防河川の整備状況について当局より報告を受けました。その後委員から、市内幹線道路等の整備状況について、また河川整備状況等について質疑を行った後、本年度の取組みについて協議し、県などの関係機関に対し要望活動を行うことが必要であるとしました。委員会終了後、一般県道高雄有年横尾線及び河川の整備状況について、現地の視察を行いました。

県への要望活動

12月16日と19日に、正副議長及び当委員会正副委員長から兵庫県土木部長、西播磨県民局長外に対し、幹線道路に関する要望として、主要地方県道赤穂佐伯線、一般県道高雄有年横尾線について、国道250号高取峠トンネル化及び交通事故防止対策の推進、並びに国道250号の4車線化のひょうごインフラ整備プログラムへの位置付けについて、河川並びに砂防の整備に関する要望として、千種川及び加里屋川の河川改修の事業促進、砂防えん堤の整備について、大鹿谷川の砂防事業の整備促進について要望書を提出しました。

● 市民病院経営改善調査特別委員会

委員会開催状況

令和6年度は計3回委員会を開催し、経営改善対策の進捗状況、効果額に対する検証や提言を行いました。

2月10日には、令和5年度、6年度において、経営状況が著しく改善されることもなく、令和6年度は病院へ5億円もの基準外繰出金の追加補正を行うなど、大変厳しい状況が続いており、経営改善目標値も2年連続満たされる見込みがないにもかかわらず、市長は経営改善検証委員会に諮問することなく、令和9年度まで地方公営企業法の全部適用を維持する考えを示されるなど、経営改善や経営形態を考える上で一つの節目であると判断し、市長の出席を求め、市長に対し①経営形態に関する方針と令和9年度まで地方公営企業法の全部適用を維持する考えについて②一般会計からの支援とその影響について③市民病院の役割と経営改善に向けた取組みについて④市長の責任について質問を行いました。

大変厳しい状況の中、引き続き病院の経営改善に取り組み、令和7年度に構築される組織において経営形態について早急に検討を行い、市民に対しても十分説明責任を果たすことを要望しました。

委員会報告から

● 民生生活

3月3日に開催し、付託された第14号議案関係部分など16議案を慎重審査した結果、全会一致で原案どおり可決すべきものとされました。

<Live119映像通報システム整備事業について>

● 問 運用方法及び効果について

● 答 通報者のスマートフォンを利用し、消防の通信指令室と映像の送受信を行うシステムであり、より詳細な現場の状況を把握することで、さらに適切な活動につなげること、また通報者に心肺蘇生法等の動画を提供することで適切な処置につなげる効果を期待している。

<母子保健推進事業について>

● 問 すこやか定期便の配布について

● 答 新生児訪問時、5か月のベビーレッスン時及び12か月の誕生日以降の面接時に保健師等が保護者にギフトを直接手渡す。都合が合わない場合は訪問または面接等の機会を設けて直接手渡す。

● 建設水道

3月4日に開催し、付託された第14号議案関係部分など6議案を慎重審査した結果、全会一致で原案どおり可決すべきものとされました。

<赤穂ふるさとづくり寄付金について>

● 問 新しい返礼品の登録状況について

● 答 令和7年3月末時点で550品目を登録予定としている。(一社)あこう魅力発信基地とも連携し、2月末時点で前年より132品目増やすことができおり、令和7年度についてもさらに返礼品のバリエーションを増やしていきたい。

<耐震改修促進事業について>

● 問 事業内容及び簡易耐震診断の実施状況について

● 答 簡易耐震診断が30件、耐震改修促進事業補助が13件を予定している。令和6年度は25件を予定していたものの、実施が予定件数を超える見込みとなり、また令和6年能登半島地震等の影響も踏まえ、令和7年度は5件の増を行った。

● 総務文教

3月5日に開催し、付託された第14号議案関係部分など16議案について慎重審査した結果、第14号議案関係部分については賛成多数で、第16号議案など15議案については全会一致で、原案どおり可決すべきものとされました。

<市民総合体育館整備事業について>

● 問 事業内容について

● 答 競技場の空冷チラーユニット改修工事、重油タンクの液面計取替工事、室内プール系統のデジタル指示調節計改修工事、その他一般修繕費及びトレーニングマシン等のリース料で、一般修繕費では消防設備の修繕を優先的に行う予定である。

<西播磨広域防災備蓄物資整備事業について>

● 問 食料品及び衛生用品の備蓄内容について

● 答 食料品についてはアルファ化米30箱程度をローリングストックしているが、アルファ化米100箱を追加購入する。また衛生用品については新生児用などの紙おむつ3,184枚、高齢者用の紙おむつ1,384枚、生理用品3,456枚の購入を予定している。

議会活動状況

1月／

- 8日・議会運営委員会
・会派代表者会
- 9日・埼玉県、吉川市、
松伏町議会行政視察（来庁）
- 10日・西播磨市町議長会講演会（オンライン）
・都市計画審議会
- 15日・第1回臨時会
- 20日・国民健康保険運営協議会

2月／

- 4日・第269回播但市議会議長会（相生市）
- 5日・議会運営委員会
・会派代表者会
- 6日・全国市議会議員共済会第129回代議員会
（東京）
- 7日・第276回兵庫県市議会議長会総会（神戸市）
- 10日・市民病院経営改善調査特別委員会
- 12日・本会議[第1回定例会開会]
（令和6年度関係議案外）
- 13日・本会議（令和7年度関係議案外）
- 18日・本会議（令和6年度関係議案表決外）
・会派代表者会
・議会運営委員会
- 26日・本会議（代表質問3会派）
- 27日・本会議（代表質問3会派及び一般質問2名）

3月／

- 3日・民生生活委員会・民生生活委員会協議会
- 4日・建設水道委員会・建設水道委員会協議会
- 5日・総務文教委員会・総務文教委員会協議会
・議会運営委員会
- 12日・本会議[第1回定例会閉会]
（令和7年度関係議案表決外）
・会派代表者会
- 14日・都市計画審議会
- 21日・民生生活委員会協議会
- 26日・東備西播定住自立圏域J R利用促進協議会
総会（赤穂市）
・東備西播定住自立圏形成推進協議会
（赤穂市）
- 27日・兵庫県市議会議長会事務引継式（赤穂市）
- 28日・安室ダム水道用水供給企業団議会（上郡町）

4月／

- 9日・議員協議会
- 11日・会派代表者会
- 14日・会派代表者会
- 18日・第2回臨時会
・議会運営委員会
・会派代表者会
・議会報編集委員会
- 24日・議会報編集委員会
- 25日・第277回兵庫県市議会議長会総会
（豊岡市）
- 28日・民生生活委員会、民生生活委員会協議会
・建設水道委員会、建設水道委員会協議会
・総務文教委員会、総務文教委員会協議会
・総務文教・建設水道委員会合同協議会
- 30日・第270回播但市議会議長会（朝来市）

☆6月定例会・常任委員会の日程(案)☆

日	月	火	水	木	金	土
6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7
6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14
		本会議 (1日目)			本会議 (2日目)	
6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21
	民生 生活 委員会	建設 水道 委員会	総務 文教 委員会			
6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28
			本会議 (3日目) 一般質問	本会議 (4日目) 一般質問	本会議 (予備日)	
6/29	6/30					

※いずれも午前9時30分から開催予定です。
 ※委員会は原則公開で、開会後の委員会室の出入りは
 休憩中を原則としています。

議会報編集委員会



委員長 安田 哲 副委員長 中谷 行夫
 委員 前川 弘文 委員 山野 崇
 委員 西川 浩司 委員 榊 悠太

編集後記

4月から編集委員も新メンバーとなりました。
 委員一同「市議会だより」が皆様に親しまれるよう、
 よりわかりやすい紙面の作成に努めてまいりますので、
 よろしく願いいたします。